

第3問

次の〔資料Ⅰ〕決算整理前残高試算表および〔資料Ⅱ〕決算整理事項等にもとづいて、答案用紙の貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。なお、〔資料Ⅰ〕の()内に入るべき適切な金額は各自推定すること。会計期間は平成22年1月1日から平成22年12月31日までの1年間である。現金預金の内訳は、現金と当座預金のみである。

〔資料Ⅰ〕決算整理前残高試算表

残高試算表

平成22年12月31日

(単位:円)

借方		貸方	
現金	551,000	支払手形	587,000
当座預金 ()		買掛金	656,000
受取手形	672,000	貸倒引当金	33,000
売掛金	553,000	建物減価償却累計額 ()	
繰越商品	320,000	備品減価償却累計額	700,000
仮払金	80,000	長期借入金	1,000,000
建物	5,000,000	資本金	4,000,000
備品	1,900,000	利益準備金	800,000
満期保有目的債券 ()		任意積立金	400,000
仕入	4,960,000	繰越利益準備金	292,000
給料	1,200,000	売上	8,400,000
広告宣伝費	333,000	有価証券利息	30,000
支払保険料	60,000		
支払利息	5,000		
()			()

〔資料Ⅱ〕決算整理事項等

- 現金出納帳と実際有高を照合した結果、実際有高が¥4,500 多かったことが判明した。その原因を調査したところ、広告宣伝費を現金で支払ったさいに、¥23,000 を¥32,000 と誤って記帳していたことが判明した。なお、その他については原因が不明のため雑益または雑損として処理する。
- 当座預金口座の残高を銀行に問い合わせ、当社の帳簿残高との差異の原因を調べたところ、以下の事実が判明した。
 - 仕入先に振り出した小切手の未取付 ¥50,000
 - 銀行に対する営業時間外の入金 ¥70,000
 - 平成22年9月15日に購入した備品代金全額の支払いのために振り出した小切手の未渡し ¥300,000
- 期末商品棚卸高は次のとおりである。なお、棚卸減耗費は売上原価に算入する。

帳簿棚卸高 850個(原価@¥300)

実地棚卸高 800個(時価@¥310)
- 前期発生を受取手形のうち¥27,000は、回収不能につき貸倒れとして処理する。
- 売上債権の期末残高に対して、差額補充法により、3%の貸倒引当金を設定する。
- 固定資産の減価償却を以下のとおり行う。

建物:定額法;耐用年数30年 残存価額 取得原価の10%(すべて期首より6年前に取得)

備品:定率法;償却率 年25%(期中購入分は同条件により月割で計上する)
- 満期保有目的債券は、平成19年1月1日に、額面¥1,500,000のA社社債を額面@¥100あたり@¥94で購入したものである。当該債券は償却原価法(定額法)により処理する。なお、この社債は満期日平成23年12月31日、年利率2%、利払い年1回(12月末日)である。
- 支払利息の未払分が¥15,000ある。
- 支払保険料は毎年同額を9月1日に向こう1年分として支払っている。
- 税引前当期純利益の40%を法人税等に計上する。なお、中間納付額は仮払金で処理されており、残高試算表上の仮払金勘定は全額がこの中間納付にかかるものである。

第3問(答案用紙)

貸借対照表

平成22年12月31日

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1 現金預金	()	1 支払手形	()
2 受取手形	()	2 買掛金	()
()	()	3 ()	()
3 売掛金	()	4 未払法人税等	()
()	()	5 未払費用	()
4 商品	()	流動負債合計	()
5 前払費用	()	II 固定負債	
流動資産合計	()	1 長期借入金	()
II 固定資産		固定負債合計	()
1 建物	()	負債合計	()
減価償却累計額	()	純資産の部	
2 備品	()	I 資本金	()
減価償却累計額	()	II 利益剰余金	
投資その他の資産		1 利益準備金	()
1 ()	()	2 任意積立金	()
固定資産合計	()	3 繰越利益剰余金	()
資産合計	()	純資産合計	()
		負債及び純資産合計	()

損 益 計 算 書

自平成22年14月1日 至平成22年12月31日

(単位:円)

I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 当期商品仕入高	()	
合 計	()	
3 期末商品棚卸高	()	
差 引	()	
4 棚卸減耗費	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 給 料	()	
2 広 告 宣 伝 費	()	
3 支 払 保 険 料	()	
4 貸倒引当金繰入	()	
5 減 価 償 却 費	()	()
営 業 利 益		()
IV 営 業 外 収 益		
1 有 価 証 券 利 息		()
V 営 業 外 費 用		
1 支 払 利 息	()	
2 ()	()	()
税引前当期純利益		()
法 人 税 等		()
当 期 純 利 益		()

第3問(解答)

貸借対照表

平成22年12月31日

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1 現金預金	(1,555,500)	1 支払手形	(587,000)
2 受取手形	(645,000)	2 買掛金	(656,000)
(貸倒引当金)	(19,350)	3 (未払金)	(300,000)
3 売掛金	(553,000)	4 未払法人税等	(477,424)
(貸倒引当金)	(16,590)	5 未払費用	(15,000)
4 商品	(240,000)	流動負債合計	(2,035,424)
5 前払費用	(24,000)	II 固定負債	
流動資産合計	(2,981,560)	1 長期借入金	(1,000,000)
II 固定資産		固定負債合計	(1,000,000)
1 建物	(5,000,000)	負債合計	(3,035,424)
減価償却累計額	(1,050,000)	純資産の部	
2 備品	(1,900,000)	I 資本金	(4,000,000)
減価償却累計額	(950,000)	II 利益剰余金	
投資その他の資産		1 利益準備金	(800,000)
1 (満期保有目的債券)	(1,482,000)	2 任意積立金	(400,000)
固定資産合計	(6,382,000)	3 繰越利益剰余金	(1,128,136)
		純資産合計	(6,328,136)
資産合計	(9,363,560)	負債及び純資産合計	(9,363,560)

損 益 計 算 書

自平成22年14月1日 至平成22年12月31日

(単位:円)

I 売 上 高		(8 , 4 0 0 , 0 0 0)
II 売 上 原 価		
1 期首商品棚卸高	(3 2 0 , 0 0 0)	
2 当期商品仕入高	(4 , 9 6 0 , 0 0 0)	
合 計	(5 , 2 8 0 , 0 0 0)	
3 期末商品棚卸高	(2 5 5 , 0 0 0)	
差 引	(5 , 0 2 5 , 0 0 0)	
4 棚卸減耗費	(1 5 , 0 0 0)	(5 , 0 4 0 , 0 0 0)
売上総利益		(3 , 3 6 0 , 0 0 0)
III 販売費及び一般管理費		
1 給 料	(1 , 2 0 0 , 0 0 0)	
2 広 告 宣 伝 費	(3 2 4 , 0 0 0)	
3 支 払 保 険 料	(3 6 , 0 0 0)	
4 貸倒引当金繰入	(2 9 , 9 4 0)	
5 減 価 償 却 費	(4 0 0 , 0 0 0)	(1 , 9 8 9 , 9 4 0)
営 業 利 益		(1 , 3 7 0 , 0 6 0)
IV 営 業 外 収 益		
1 有 価 証 券 利 息		(4 8 , 0 0 0)
V 営 業 外 費 用		
1 支 払 利 息	(2 0 , 0 0 0)	
2 (雑 損)	(4 , 5 0 0)	(2 4 , 5 0 0)
税引前当期純利益		(1 , 3 9 3 , 5 6 0)
法 人 税 等		(5 5 7 , 4 2 4)
当 期 純 利 益		(8 3 6 , 1 3 6)